# 藤枝市立葉梨西北小学校
# 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年7月8日(火)

藤枝市立葉梨西北小学校 の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験　　火起こし体験　　を行いました。

## 土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

＜児童の感想＞

土器分類で分厚いのに縄文土器ではなかったり、須恵器のような弥生土器があったりして、見分ける難しさを感じました。これを見ただけでわかるプロの方のすごさがわかりました。

縄文土器は見分けやすかったけれど、弥生土器と須恵器の見分けが難しかったです。高い温度で焼き上げ、表面の色に違いがでてくることがわかりました。この見分け方を見つけた調査員の方の知識の多さに驚きました。

## 火起こし体験

舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

＜児童の感想＞

火起こし体験は、とても腕が疲れました。しかし、火が着いた時には達成感がありました。昔の人たちの大変さを知ることができました。

火起こしをするのはとても大変でした。昔の人の暮らしを知るだけでなく、当たり前に使うことのできる火のありがたさを実感することができました。

＜先生方の感想＞

子供が本物に触れることの良さを改めて感じることができました。座学では、資料やレプリカを使いながら昔の人の生活の大変さをイメージしました。今回、火をおこすだけでも昔の人がどれほど大変であったかを体験し、イメージと結びついたことで「大変さ」がより実感をもったものになりました。すばらしい体験をさせていただき、ありがとうございました。

静岡県埋蔵文化財センター